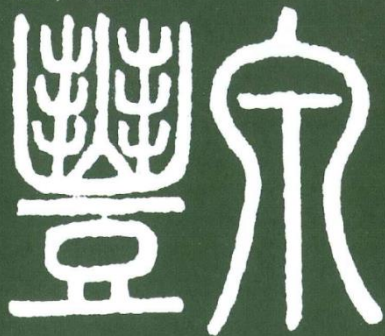


ほうせん



弘前大学附属図書館報
The Hirosaki University Library bulletin

2021.5

豊泉（ほうせん）とは 本学図書館が「汲めども尽きぬ豊かな知の泉であるように」との思いから、松原邦明名誉教授により名づけられました。（出典：明治9年『仏国学制』（文部省翻訳・出版）附録上巻「学校ニ於テ教フル所ノ学科ノ外ニ、又人智ヲ広ムルノ豊泉アリ」

今日は図書館で何しよう？



特集：誕生 アカデミック・commons

- 06 本との出会いを楽しむ〈第26回〉学長の本棚 「生き方の指針」（弘前大学学長 福田眞作氏）
- 07 本の中のおいしいレシピ〈第1回〉～不便を楽しもう～
- 08 トショカンの舞台裏 “Book Hunting の本が図書館に並ぶまで”の巻
- 09 図書館ショートストーリー「へば図書館さ行くべ」〈第3回〉
- 10 Library's Half Year
- 11 寄贈図書紹介
- 12 図書館員ちよこっコラム&編集後記



No. 53



誕生 アカデミック・コモンズ

Hirosaki University Library Academic Commons



皆さんが抱いている「図書館」はどんなイメージでしょうか？“本棚に沢山の本が並んでいて、そこから本を取り出して読んだり借りたり。机で資料を広げて勉強したり研究したり、新聞を読んで情報収集したり。もちろん、静かにしないと周りに迷惑がかかるのでおしゃべりは厳禁”……こうしたイメージを持っている方も多いかもしれません。

図書館の歴史は古代エジプトのアレクサンドリア図書館に始まります。その後、歴史とともに宗教や権力者の庇護のもと修道院図書館や王室図書館という形で、人々は様々な「知」を保管してきました。貴重な「知の保管庫」である図書館には鎖につながれた本があったといえます。重々しくて敷居が高い、近寄りづらい、という雰囲気は昔からあったのかもしれませんがね。

2021年5月、弘前大学附属図書館1階に、新しい機能を備えた「アカデミック・コモンズ」が誕生しました。ここは、良い意味で“図書館のイメージ”を覆す、そんな場所です。

それでは、皆さんを誌上ツアーへご案内いたします。



A



B



C



D

知の交錯する場所

アカデミック・コモンズは、附属図書館の西側雑誌棟1階にあります。これまでは事務用書庫として利用者の方は通常利用できない書庫スペースでしたので、「Staff Only」の表示が書かれた扉の奥を覗いたことがない人がほとんどだったと思います。

コンセプトは「知の交錯する場所」。ここを訪れた人々が、図書館にある資料や情報を得るだけでなく、そこに集う人々との出会いを通して様々な「知」がブレンドされ、さらに共有・発信することで新たな「知」が生まれることを目指して作られました。

皆さんがアカデミック・コモンズに足を踏み入れると、最初に図書館らしからぬ音が耳に入ってくることでしょう。実はこのエリアのメインとなっているグローバル・スクエアでは、天井までの壁面ホワイトボードを使用した大画面で、BBCワールドニュースを常時放映しているのです（写真A・B）。図書館で所蔵するドキュメンタリーや映画なども定期的に放映し、シアターのような気分で楽しむこともできます（写真C・D）。誰でも自



Hirosaki University Library Academic Commons



GLOBAL SQUARE



英字新聞や eBook などおすすめ



PRESENTATION STUDIO



ビデオカメラや編集用 PC も貸出しています



由に利用することができますので、偶然ふらりと訪れていただくだけで、その時々で何か新たな発見や情報との出会いがあるかもしれません。

シアタースペースの反対側には大容量の壁面書架を設置し(写真 E・F)、英語学習に役立つ多読本や関連書籍、DVD 等を配置(写真 G・H・I・J)しています。目で見て、耳で聴き、会話をしながら外国語の学習ができます。またこのエリアでは、講演会やポスターセッションなどができるよう設備を整えていますので、貸切でイベントやワークショップなども開催可能です。

アカデミック・コモンズ入口近くに設けたプレゼンテーション・スタジオは、動画コンテンツの撮影や製作が可能なスタジオです(写真 K)。高性能の電子黒板や書画カメラなどを利用しながら(写真 L)、オンライン授業の教材作りやサークル紹介動画などを作ってみませんか？

勉強ばかりで息が詰まる……、そんな時はゆったりとしたソファや個性的なチェアが自慢の空間、リーディング・ルームで読書などはどうでしょう(写真 M・N)。弘大図書館で人気のビジネス関連書籍や話題の小説・文芸書などを配置していますので

READING ROOM



REFRESH SPACE



2F MAIN READING ROOM



全席コンセント配備の快適空間



NEW

教育学部側からも入館可能になりました！

月～金 8:30～18:00



(写真 O)、リラックスしながらの読書に最適です。また、この場所はメディア向けの取材場所として活用することもできます。

そして、ご要望の多かった「飲食可能なエリア」が初めてできました(写真 P・Q)。リフレッシュ・スペースでは、勉強や研究の手をとめ休憩をとりながら図書館に滞在していただけます。

さらに今回の改修にあわせて、雑誌棟 2 階の閲覧室もリニューアルしています。広めのワークテーブルを設置し、雑多になりがちなパソコン作業なども快適にこなせる閲覧室です(写真 R・S)。図書館の中でも一番静かなエリアで、集中してじっくり勉強や研究をしたい方におすすめです。

さあ、今日はアカデミック・コモンズでどう過ごしますか？

WHATS NEW about the Library 2021

図書館サポーターの学生が、みなさんの図書館利用をお手伝いします。



「本が見つからない」、「文献の探し方が分からない」など、図書館利用について困ったら気軽に相談してくださいね！

月曜日～金曜日
10:00～12:00
14:00～16:00

アカデミック・コモンズ内のサポーターデスクに居るか館内を巡回しています。



授業のためサポーターがいない日もありますが、ご不明な点はカウンタースタッフにもお声がけください。

第7回 POP コンテスト 作品募集

7/16 締切

詳しくは P11 掲載「POP コンテストのご案内」へ！

第7回弘前大学附属図書館 POPコンテスト

募集期間: 2021年5月10日(月)～7月16日(金)

大賞 図書カード 3万円分	優秀賞 図書カード 1万円分	応募要項 http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/pop/pop7.html	QRコード
サンライズ 図書カード 1万円分	佳作 図書カード 3千円分	昨年の受賞作品 http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/pop/pop6_kekka.html	QRコード

【問い合わせ先】弘前大学附属図書館 情報サービスグループ (附属図書館棟1階サービスカウンター)
TEL: 0172-39-3163 E-Mail: jm3163@hirosaki-u.ac.jp

本との 出会いを 楽しむ

第26回

学長の本棚

「生き方の指針」

福田 眞作

弘前大学学長。弘前大学大学院医学研究科修了。弘前大学医学研究科教授、附属病院院長、学長特別補佐などを経て、2020年4月から現職。



私の通った小・中学校にも小さな図書館はありましたが、本を借りに行った記憶がほとんどなく、文学少年とは対極にある少年時代を過ごしました。高校では教科書を、大学入学後も専門書を読むことはあっても、いわゆる読書に夢中になることはありませんでした。努めて読書するようになったのは、医師として社会にでてからです。こんな自分が、「本との出会いを楽しむ」へ寄稿して良いものか、悩みながらこの原稿を書いています。自分が大事にしている本を紹介することでお許し願えれば…。

まずは、亀井勝一郎著の『黄金の言葉～思索する心のために～』（1969年初版、1978年第五刷が手元に）を紹介します。1981年、医師となってもなくのことです。自分の未熟さを自覚する出来事があり、ふと立ち寄った書店で「黄金の言葉」という仰々しいタイトルが目にとまりました。手に取ってみると、「心得たと思うは、心得ぬなり。心得ぬと思うは、こころえたるなり（蓮如）」という一節があり、「どこまで努力しても、まだまだ自分は未完成だと自覚していることが、人生を生きる上で重要な心構え（未完成の自覚）」だと、「生き方の指針」を教わりました。歴史的に有名な詩人（ゲーテ）、哲学者（ソクラテス）や僧侶（蓮如）などが残した言葉を解説した本著は、私のバイブル的存在であり、学長に就任してからも、本棚の目立つところに置いています。残念ながら絶版となっ

ており、図書館にもないようです。

えっ？図書館にない本の紹介？と思っている方の声が聞こえてきそうです。そこでもう一冊。こちら古い本ですが、これから現実の社会を経験する学生の皆さんへのお薦めの本です。1937年に出版されて以来、数多くの人に読み継がれてきた作品で、吉野源三郎氏の名作『君たちはどう生きるか』という本です。人間としてどう生きればいいのか、読んでいくうちに自然と考えるように書かれています。勇気、いじめ、貧困、格差、教養等、昔も今も変わらない人生のテーマに真摯に向き合う主人公のコベル君と叔父さん。二人の物語には、「生き方の指針」となる言葉が数多く含まれています。出版後80年経った今も輝き続けるこの歴史的な名作が、原作の良さをそのままに漫画本としても出版されています。単行本でも漫画本でも、一度手にとってほしい一冊として紹介します。

（ふくだ しんさく）

本館所蔵

・「君たちはどう生きるか」
吉野源三郎著
岩波書店

080
3
2944

和図書（第1書庫2F～5F）

・「君たちはどう生きるか」
吉野源三郎著
マガジンハウス

159.7
Y92k

開架図書（本館2F）



第1回「不便を楽しもう」 — 「面白南極料理人 笑う食卓」 —

この本は、著者がかつて調理担当として南極基地に滞在していた時、実際に基地で作った料理の数々とそれにまつわるエピソードを紹介しています。

南極基地での料理には、数々の制約があります。具体的には、途中で追加調達はできないため1年分の食料品全てを持参、食材は冷凍品と乾物・缶詰、気圧の関係で沸点は85℃、水は毎日氷を溶かして作るため節水第一、食品ロスを極限まで削る、といったものです。その中でどうやって美味しい料理を作り、きちんと栄養を取り、水を節約し、材料を無駄なく使うかというのが、日々のテーマです。

途中で麺が足りなくなって自作してみたり、調味料を持っていくのを忘れてドレッシングで代用してみたり、種から水耕野菜を育ててみたり、と創意工夫している様は、不便ながらも楽しそうです。

本では31種のレシピが紹介されているので、読者も南極基地の不便さを想像しつつ、料理を楽しむことができます。今回は、その中から乾物を使った料理、鶏と白菜のビーフン入り椎茸鍋と中華粥を作ってみました。乾物は南極基地でなくても普通に使う食材ではありますが、季節にかかわらず豊富な食材が手に入る現代日本では、めったに使わないという方も多いでしょう。食料品は全て持参すると書きましたが、前の隊が使いきれず残っていたものもあります。南極基地で乾物類が大量に残っていたため、どうにかして消費しようと考案したレシピだそうです。

椎茸鍋では、干し椎茸を1晩水で戻してから鍋物にしています。中華粥では、戻した干し貝柱を使っていますが、時間はかかりました。いずれも、乾物の戻し汁を出汁として使

うことで、食品ロスが出ないように工夫しています。

ちなみに南極基地の隊員とは、一時的な身分であって、職業ではありません。隊員として一期ごとに選出されたメンバーが、調査研究や基地の維持運営を行いつつ、共同生活を送ります。著者も元々は海上保安庁の職員で、出向の形で参加しています。弘大図書館にも以前、南極基地に行ったことがあるという課長が在籍していました。遠く離れていて自力で行くのは困難な南極大陸ですが、思ったよりは身近(?)な場所なのかもしれません。興味のある方は将来、研究者か技術者になって、応募してみたいかがでしょう。

本館所蔵

「面白南極料理人 笑う食卓」
西村淳著
新潮社（新潮文庫）

297.9

N84o

小説・文芸書（雑誌棟 1F
リーディング・ルーム）

“Book Hunting の本が図書館に並ぶまで”の巻

トショカンの舞台裏

弘前大学附属図書館では、学生が自ら書店に出向き、図書館に置いてほしい本を選ぶ「Book Hunting」を毎年実施しています。

令和2年度は、2020年12月12・13日にジュンク堂中三弘前店で開催しました。参加者は8名で123冊が選書されました。

図書が書棚に配架されるまでには選書・納品・受入・登録・装備・配架といった多くの工程を経ています。

今回は、その舞台裏をご紹介します。



.....1.選書.....

毎年、図書の選定委員会で選定方針が決定されます。令和2年度においては、教育・学習支援図書（学部からの選定）、新刊図書（書評欄掲載図書）、図書館利用者希望図書、そして「Book Hunting」といった選書を実施しました。

.....2.納品・受入.....



「Book Hunting」で選定・納品された図書は、ブックトラックといわれるキャスター付きのカートにのせ、1冊ずつ、納品された情報を入力していきます。

.....3.登録・装備.....

次に、図書を検索できるようにするため図書の登録作業を行います。国内の大学では、国立情報学研究所のデータベースを利用して図書の情報を簡便な方法で入力できるようになっています。この登録作業を実施することにより、弘大 OPAC や CiNii Books（全国の大学図書館等の所蔵が検索できるシステム）など多方面から蔵書を検索できる

ようになります。また、図書をどの分野に並べるか（どの分類にするか）は図書の内容を参考にし、この時点で決定しています。

図書には、バーコードラベル・請求記号ラベルを貼付します。一部の図書については、カバー上からラミネートフィルムを貼っています。



.....4.配架.....

登録・装備された図書は、指定された配架場所に配架されます。今回紹介しています「Book Hunting」については、1か所にまとめて配架しています。



このように、「Book Hunting」で購入した本が図書館に並ぶまでには様々な工程があります。2020年「Book Hunting」購入図書一覧は下記 URL からどうぞ。
http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/BookHunting/2020_01BookHunting-list.pdf





へば図書館さ行くべ 第三回

前回までのあらすじ

レポートを作成するため、初めて図書館を訪れたサキ。友人の助けを受け、本を探しているが…

見ればいいべき」

「画面の貸出ボタン押して、学生証を置いて、本を置いて、こう」

慣れた手つきで学生証を出して、画面にさわっている。機械の赤い光がずっとバーコードの上をとおって、カタ

ン、と気持ちいい音がした。

「で、終了ボタン押して本と学生証とレシートを取る」

最近スーバーによくあるセルフレジ

みたい。私、アレ苦手なんだけどな…

慣れなくて。

「誰にだって初めてはあるはんで。次からは一人でできるようになるべ。たぶん」

ヒロにあれこれ指示されて、ようやく貸出の手続きができた。

「どうしよう……」

二週間もあれば読み切れると思ったのは誰だ。私だ。最後の一冊が難しく、

「あ、あった〜！」

この数字、このタイトル、レジユメ

に書いてあった本で間違いない。でも

「う、分厚い…これ全部読むの…?」

厚さ三センチつってところかなあ。字

は小さいし、絵やイラストなんて載っ

てない。

「とりあえず借りてみればいいべき」

「そっか。借りられるんだね」

「十冊までな。二週間」

いやいや、これ一冊で十分だよ…と

言おうとして、ふと気づいた。

「この辺りって、この分野に関する本

ばっかり並んでるんだね」

「んだよ。図書館の本はみんな分類…

いわゆる、分野」ことに並んでるはんで

「へえ〜」

意識して本棚を見てみると、確かに、

ほかにもレポートに役立ちそうな本が

ちらほらと…

「あっちで待ってるはんで。ゆっくり

◆ ◆

「よし。これにしよう」

迷いに迷ってとりあえず三冊選んだ。

こんなに読み切れるか不安だけど、二

週間もあればなんとかなる、と思う。

「それで、これどうやって借りるんだ

ろう?」

「カウンターさ行く」

「わっ」

びっくりした。いつの間にか戻って

きたヒロが、私の後ろに立っていた。

たくさん本を抱えて、そのままスタ

スタ歩いて行く。

「え、待って待って」

「図書は、この機械で貸出の手続きが

できるはんで」

図書館の入り口まで戻ってきたかと

思うと、ヒロはカウンターの間に

水色の機械の前で止まった。

◆ ◆

でも面白くて、たくさんノートにメモを取りながら読んでいたので、全然進まない。気がつけば返却期限は明日に迫っていた。

「どうしよう…」

《図書館の本まだ読んでない》

《明日までに返さないとヤバイ》

愚痴ってもどうにもならないとわか

ついても、現実逃避にSNSに

ポツポツ呟いてしまう。

「はあ…」

とにかく一ページでも進めようと、

本を開こうとしたら、急にスマホが鳴

った。

《マイライブラリーで延長すれば?》

《マイライブラリーで延長すれば?》



つつく



Library's Half Year 2020.12~2021.5



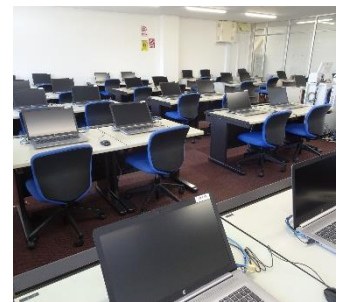
	12/7 令和2年度第3回附属図書館運営委員会(紙上) 令和2年度第2回広報委員会
	12/11 「聞蔵II」同時アクセス拡大(～12/24)
12月	12/12 第7回 Book Hunting (～12/13)
1月	1/19 「聞蔵II」同時アクセス拡大(～2/1)
2月	2/19 システム更新のため図書館情報システム停止(～2/28)
	3/1 新図書館情報システム稼働
	3/4 令和2年度附属図書館第4回運営委員会(オンライン)
	3/9 雑誌棟配架資料 出納式で利用開始
	3/15 図書館サポーター研修開始(本館)
	3/19 令和2年度附属図書館第5回運営委員会(紙上)
3月	4/1 PC サテライト利用再開 貸出冊数・更新回数変更(本館)
	4/6 文献検索ガイダンス開始(～6/29)
	4/9 8:30の開館試行(本館) 図書館サポーター業務開始(本館)
	4/16 基礎ゼミガイダンス開始(～6/30)
4月	4/22 国立大学図書館協会東北地区総会
	5/7 ヨミダス歴史館同時アクセス拡大
	5/10 第7回 POP コンテスト募集開始(～7/16)
	5/28 雑誌棟リニューアルオープン
5月	5/31 豊泉第53号 Web 公開

この3月、図書館情報システムが6年ぶりに更新されました。自動送信の機能が拡充されたため、返却期限のお知らせや延滞のお知らせのメールが自動送信できるようになりました。

4月には、8:30開館の試行、貸出条件の拡充、図書館サポーターを開始しました。8:30開館と貸出条件拡充は、11月に実施した利用者アンケートの要望に応じて、行うことになりました。図書館サポーターは、平日の決まった時間に担当の学生がデスクに待機しており、図書館の利用方法や資料の探し方について、利用者のお手伝いをします。図書館職員と同じベージュのエプロンが目印です。

また、昨年度長く閉鎖していたPCサテライトも4月より利用を再開しました。システム更新に伴い、PCも新しい機種になっています。昨年度は行わなかった基礎ゼミガイダンスや文献検索ガイダンスも開催しています。一方、感染症対策として、温度センサーによる体温の計測、閲覧席の間引きや開館前の消毒作業、グループでの個室利用停止などの対策を引き続き行っています。

5月には、雑誌棟がリニューアルオープンしました。今号P.2-5でも特集していますが、英語ニュースの視聴やプレゼン練習、飲食可能なリフレッシュ・スペースなど、今まで図書館には無かった様々な機能を持つエリアとなっています。どうぞご利用ください。



読書新聞DB
アクセス拡大!

ヨミダス歴史館
最大100人
利用可能

5月7日(金)
～
8月6日(金)

Hiroid WiFi
学内のPC端末

ガンガン使える
90日間

ご利用の際は、必ず体温測定と検温をお願いします。

ご利用の際は、必ず検温をお願いします。



寄贈図書紹介

本学関係者の著作で、図書館に寄贈された図書資料をご紹介します。(令和2年10月～令和3年3月受贈分)

寄贈者	書名	著者・編者	出版社	冊数	所蔵先
石橋 恭之(医)	パーフェクト前十字靱帯再建術<ACL>	石橋恭之, 黒田良祐, 前達雄	金芳堂	1	分館1
蝦名 敦子(教)	ディープラーニングと図工・美術科教育: 子供の空間把握の問題を中心として	蝦名敦子	蝦名敦子	2	本館2
宋 美蘭(教育推進)	韓国のオルタナティブスクール: 子どもの生き方を支える「多様な学びの保障」へ	宋美蘭	明石書店	1	本館1
武井 紀子(人)	日本古代律令制と中国文明	大津透	山川出版社	1	本館1
武井 紀子(人)	東奥義塾高等学校所蔵旧弘前藩古典籍調査集録: 弘前大学地域未来創生センター藩校資料調査プロジェクト 第1,3-7集	弘前藩藩校資料調査プロジェクトチーム	弘前藩藩校資料調査プロジェクトチーム	各1	本館 各1
中村 剛之(農)	直翅系昆虫類 = Polyneoptera	日本昆虫目録編集委員会	日本昆虫学会	1	本館1
弘前大学出版会	暗号技術を支える数学 = The mathematics behind cryptography 第2版	長瀬智行, 吉岡良雄, 別宮耕一	弘前大学出版会	1	本館2
弘前大学出版会	白神学入門 (2021)	弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター	弘前大学出版会	3	本館2/分館1
弘前大学出版会	人、人と育つ: 弘前大学教育学部特別活動授業録	弘前大学教育学部	弘前大学出版会	3	本館2/分館1
弘前大学出版会	電子情報工学実験/実験の手引き	弘前大学理工学部電子情報工学科	弘前大学出版会	1	本館1
弘前大学出版会	非密封放射性同位元素取扱の基礎	弘前大学大学院保健学研究科放射線技術科学領域	弘前大学出版会	1	本館1
弘前大学人文社会科学部北日本考古学センター(人)	「亀ヶ岡文化の世界」: ミニ特別展: 弘前大学人文学部附属「亀ヶ岡文化研究センター」開設記念	弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター	弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター	1	本館1
弘前大学人文社会科学部北日本考古学センター(人)	ミニ特別展「森吉山麓の亀ヶ岡文化」	弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター	弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター	1	本館1
南 修平(人)	2020年度アメリカ研究ゼミ卒業論文集	弘前大学人文社会科学部文化創生課程多文化共生コース	弘前大学人文社会科学部文化創生課程多文化共生コース	1	本館1
諸岡 道比古(名)	啓示の哲学 中: 新装版	諸岡道比古	文屋秋栄	1	本館1
保田 宗良(人)	大学における消費者問題講義の実践モデル構築: 2020年度弘前大学人文社会科学部・教育学部消費者教育推進事業(文部科学省委託事業)報告書	2020年度弘前大学人文社会科学部・教育学部消費者教育推進事業(文部科学省委託事業)報告書編集委員会	弘前大学人文社会科学部・教育学部	1	本館1
李 梁(人)	クリンタンが拓いた日本語文学: 多言語多文化交流の淵源	郭南燕	明石書店	1	本館1
力石 國男(名)	看護学生のための統計学	力石國男	三省堂書店	2	本館1/分館1

※敬称略。寄贈者名の50音順。カッコ内は寄贈者所属。

(医): 医学研究科、(教): 教育学部、(教育推進): 教育推進機構、(人): 人文社会科学部、(農): 農学生命科学部、(名): 名誉教授



第7回弘前大学附属図書館
POPコンテスト

募集期間: 2021年5月10日(月)~7月16日(金)

☆☆賞品は図書カード☆☆

大賞	3万円分
優秀賞	1万円分
佳作	3千円分
サンライズ産業賞	1万円分

協賛: サンライズ産業株式会社様

第7回附属図書館POPコンテストのご案内

募集期間: 2021年5月10日(月)~7月16日(金)

POPとは、店頭に置いたり商品につけたりする広告のこと。本屋さんなどで、メッセージカードのような個性的で面白いPOPを見つけることができます。

おもしろかった

泣けた

ためになった

貴方のおススメの本を、絵や文で紹介してください。

応募要項はこちら <http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/pop/pop7.html>

問い合わせ
応募先

0172-39-3163
jm3163@hirosaki-u.ac.jp

情報サービスグループ
 本館1階サービスカウンター



◆編集後記

今回、「おいしいレシピ」の記事を担当しました。干し貝柱を売っている店を探したり、夜だと写真映りが悪いので休日の昼に調理したりと、地味な苦労がありました。そして食材費は自腹です。(参考調査担当 Saito)

紙面に収まりきらないアカデミック・コモンスの魅力、ぜひ実際に訪れて皆さん自身で体験してみてください。(雑誌情報担当 Suda)

弘大図書館に新しい「空間」が生まれました。この図書館が誰かの新しい「居場所」になれるといいな、と思います。(参考調査担当 Maru)

弘前大学附属図書館報「豊泉」 第53号

発行日：令和3年5月31日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会
〒036-8560

青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3162

FAX 0172-39-3171

◆◆◆◆◆図書館員ちょこっとコラム◆◆◆◆◆

with コロナの新年度が始まりました。昨年は中止となってしまった弘前さくらまつり・ねぶたまつりも、今年は対策をとっての開催の予定が発表され、2年ぶりの桜とねぶたがとても楽しみです。(2021年3月現在)

少し前の話ですが、年明けに小学生の娘2人にねだられて映画『新解釈・三国志』を観にいかけてきました。本人達は「大泉洋とムロツヨシが目的だったのですが、君たち三国志を知らないのにいきなり新解釈かい!?!」と思い、予習用にとコミック『劉備徳子は静かに暮らしたい』(白泉社)を手渡してやりました。その後、DVDや図書など様々なツールで三国志に親しむ彼女たちの予想以上の反応が嬉しく、ぜひこのまま順調に三国志オタ…(ゴホゴホ)、三国志への興味と知識を深めていってくれたらと思います。

ねぶた絵にもよく三国志の名場面が

描かれていますね。8月に開催される弘前ねぶたまつりのねぶた絵は、勇壮な武者絵が鏡絵(表)に、優美妖艶な美女が見送り絵(裏)に描かれます。題材として日本の歴史上の英雄や、中国の三国志・水滸伝が主に用いられます。

附属図書館医学部分館では、本学名誉教授で医学史家・郷土研究家でもいらっしゃる松木明知先生がご寄贈くださった『絵本三国志』や『新編水滸書傳：百八景』等を所蔵しています。ねぶた絵師達に画手本として読まれた江戸読本(小説)の挿絵集です。貸し出し可能です。本館へも取り寄せて利用できます。(資料の探し方、取り寄せ方がわからない時は図書館スタッフへお声がけください。)

新しいかたちで新しい観点から楽しむ弘前。おすすめがありましたらぜひご紹介ください。

(はたけやま ようこ)

【弘大図書館公式 twitter】

弘大図書館に関する情報を発信しています。お気軽にフォローしてみてくださいね。「#弘大図書館」のハッシュタグで、「弘大図書館のここが好き!」「弘大図書館でやってほしいこと」「豊泉読んだ」などのご意見・ご感想を募集中!

@HirosakiUnivLib



【弘大図書館ガイダンス動画 YouTube】

図書館職員が作成したガイダンス動画をYouTubeで公開しています。館内ツアーや文献検索など、役立つ情報が盛りだくさんです。ぜひご活用ください。

<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidance/guidance.html>

ガイダンス動画

